



本四國靈場巡拝

一番札所 霊山寺にて

平成6年8月

第21号
年2回発行

発集発行

広島県安芸郡府中町
茂陰2丁目2-8-10

眞言宗 正觀寺

小出真行

自分のものでありながら
その実体を知りがたいのは、
我が心である

(十住心論より)

觀 正 目

「清らかな水に
なるには」

平成6年度版環境白書によりますと、

「みそ汁一杯を川に捨てて、魚がすめるようにきれ
いに戻すには、おわん何杯の水で薄めればいい?」

皆さん、おわかりですか……。

答えは、なんと七千杯のことです。

何の気なしに流しています、生活排水ですと、
……。悲しいことです。

住みやすい地球を守ることをもう一度考えさせら
れますね。

平成6年度本四国(前期)

順拌の記

川岡敏行

一概要

イ、期間

平成6年5月25日(水)より5月30日まで
5泊6日間。

口、札所

1番霊山寺より55番南光坊まで56ヶ寺と番
外2ヶ寺(鯖大師、十夜ヶ橋)

八、一行

18名(男9、女9)
小出真行、田村達雄、木村弘、末広一

二、企画

佐々木次三、山崎清、松浦輝彦、山本隆章
川岡敏行、尾尻房枝、吉高英枝、仁後孝子
石原幸子、中西ヨシエ、平塙三枝子
佐々木ひろ子、山本綾子、川岡智寿子

※住所、年令、敬称など省略。

ホ、会費

愛媛県今治市上徳乙二一六番地四
いすみ観光株式会社
運転者:矢野添乗員:室津昭一
一人八五〇〇円

三、詳細

第1日 5月25日(水) 暫時々晴のち風雨
4時30分JR海田車庫前、佐々木、尾尻、吉高。45
分広島バス鹿籠停、田村、川岡2人。5時正觀寺前、
小出、木村、末広、仁後、石原、中西。5分文化橋、
山本2人。10分府中ダイイチ店前、松浦、山崎、佐
々木、平塙。14分温品バイパスin。22分広島東IC。
車中、小出住職より20年前高野山大学4年生時の本
四国体験談。木村先達より会計、行程について説明。
室津添乗員より阿波(発心の道場)、土佐(修業の
道場)、伊予(菩提の道場)、讃岐(涅槃の道場)
の最新式バス(価格六〇〇〇万円)なること。早
島ICより瀬戸中央自動車道を坂出ICへ高松西I
Cへ7時15分府中湖PAでトイレ休憩(長尾街道)
鳴戸へ9時15分、木村先達持参のテープによる1番

ご詠歌。26分1番霊山寺着般若心経、納札、納経、記念写真撮影、遍路用具購入など。10時2番極楽寺で小雨。30分3番金泉寺、11時20分、5番大日寺、雌雄の猪が気持ちよさそうに眠っている門前酪農家の庭。浮羽観光バスと離合。4番大日寺本堂、徳島県板野郡板野町黒谷5、弘法大師、留鐸中、大日如来を感じ得す。本尊・大日如来。19番立江寺。午後2時20番鶴林寺も雨。10分6番安樂寺で昼食。精進蒸籠飯と3人用の座布団がめずらしい。1番十樂寺、山門の上に護摩堂と財天を宗る小島は近江竹生島(ミニ)のよう。1時50分9番法輪寺、門前茶屋のむし芋、草餅は最も美味。2時5分10番焼山寺、5人乗りのタクシーに乗り換えて。3時11番藤井寺、藤棚はみごと。4時12分大日寺、55分名西郡神山町民宿さくら屋旅館到着(泊)。

※4時大日寺出発以来さくら屋旅館までの1時間は非常に長く感じられた。それは、たいていの人が3時半頃起床、13時間30分もお参りしたから。また、神山町は勝浦川上流谷あいの山村で、細く、カーブや工事中の多い道をゆるやかに登って行くのだから、図は衛星の電波により送られる。車中電話使用可能の最新式バス(価格六〇〇〇万円)なること。早島ICより瀬戸中央自動車道を坂出ICへ高松西I Cへ7時15分府中湖PAでトイレ休憩(長尾街道)と書かれている納経所。9時26番金剛頂寺、行當岬、奈半利、

第2日 5月26日(木) 強風雨
勝浦川の瀬の音に、熟睡の夢を破られた。外は雨。さくら屋旅館7時出発。12番焼山寺へは、マイクロバスに乗り換えて。14番常樂寺、15番國分寺をすまし、10時頃より強風雨となる。16番觀音寺をすます頃、バスの駐車場がわからず少しまごつく。17番井戸寺10時40分発。11時徳島大学通過、11時20分ドライブイン海賊船一階で昼食。船の胴の間を模した炉端飯とは変わった趣向。酢蛸美味。47分発。12時18分太龍寺では一〇〇人乗りのゴンドラ太龍1号に乗ったが、風雨特に烈しく、山頂駅では傘も飛ぶくらい。ゴンドラからの眺望を期待したがさっぱりだつた。ゴンドラの名前を青龍、白龍にするようガイド嬢に言っておいた。4時23番平等寺、24番薬王寺、25番法輪寺、門前阿蘇草千里で列風雨に遭い、柄ノ木山旅館で同じよう靴を乾かしたことを見出しました。

寝室は三階の45畳敷きの大部屋。しかも18人分の夜具が敷きのべられてある。半分減らせと番僧に指示したのに拘らず、朝までそのままだったのは、少しも困らない。夕食、鰹の皿鉢他。

第3日 5月27日(木) 暫時々晴
5時30分より護摩供養。割れるようないの聲のすさまじさ。神戸市長田区腕塚町の壱坂觀音松寿会(綿貫先達)と同道(近鉄名古屋バス)。6時42分出発。海南町、海部町、穴喰町を経て7時02分穴喰大橋通過、徳島・高知県境に入る。甲浦大橋、東洋町、佐喜浜橋、室戸市通過、44分太子像前着、御藏洞前で記念撮影、青年僧太子の修業の頃を偲ぶ。8時24番最御崎寺着、ウバメガシの樹林が印象深い。35分室戸警察署通過。野中兼山と一木頓兵衛の話。39分25番津照寺、二六〇の石段。『人生は不悪口』と書かれている納経所。9時26番金剛頂寺、行當岬、奈半利、

利町、田野町を経て、18分安田町in、安田タクシーに乗り換え27番神峰寺へ。11時10分昼食（安田町ドライブイン27）。33分発。45分安芸川橋、49分岩崎彌太郎旧家わかれ、53分野中兼山の防風林6km続く。58分芸西村in、12時01分右に土佐ロイヤルホテル、歩き遍路を追い越す。夜須町を経て、09分赤岡町in、18分28番大日寺、44分野市町in、50分物部川、龍河洞わかれ、57分南国市わかれ、米二期作の地。13時05分29番国分寺、靈場会本部あり。記念撮影。09分発。19分30番善樂寺、50分31番竹林寺「ゴザイマス」調の添乗員の説明。ここでまた松寿会と同道。別れを告げる。いざりつ草引く女あり、お参りできてありがとうございました。58分2級河川熊野川。14時07分姫福屋観光高知店で買物、39分発。浦戸湾、坊さんと簪の話。15時30分32番郡岬峰寺、16時35分33番雪蹊寺で打ち止め。45分高知市民宿英光到着（泊）2階18畳、鰐の皿鉢2回目。

※松寿会は途中ビワの実を買い、おくれたが、高知市により、やっと外に出ることができた。7時19分出发。29分土佐市、春野町わかれ、37分34番種間寺、記念撮影。このお寺のトイレは変わっていた。入口に、錢湯の紺色の暖簾が2枚垂れていて、『ゆ』と書かれていた。また、帖紙禁止としてあるが、そのかわりに掲示板が設置してある。57分発。8時07分、灌漑用水路の整備されたアジサイ街道。10分仁淀川、47分36番青龍寺、鳶は啼き、雉は飛び、ベッコウトンボ（土佐市指定保護虫）は舞い、少年時代にかえた気持ち。9時19分発。21分宇佐大橋、宇佐の渡しの話。40分高岡町in、44分高岡タクシーに乗り換え、55分36番清滝寺、記念撮影。10時23分発。26分昼食。「たべていただけますか」と添乗員（ドライブイン蓮池食堂）※スカイプラザ・よこなみを変更、アサリ汁、鰐の皿鉢（これで3回目）他。11時06分

不5日 5月29日(日) 晴
4時40分住職ら有志数名、一般観光客ら數十名と展望台でご来光を迎える。福岡からの青年数名、早くも待ち構える。5時35分内陣で朝の勤行。副住職長崎勝教師の法話。バス遍路もバスの中で、先祖の菩提を弔らい祈るべし』と。6時53分出発。7時03分足摺スカイライン。14分料金所。19分土佐清水港。25分足摺サニーロード。38分龍串。44分貝ノ川漁港。51分高さ80mの断崖見ゆ。8時08分宿毛市in、車中の人よく眠る。宿毛市は人口4万人。五〇〇年前一條冬開港。高知県最西端の市。元首相吉田茂誕生地。27分愛媛県一本松町in。40分城辺町in。43分御庄町in。46分40番觀自在寺。平城天皇の勅願所だけあって、すばらしいお寺だ。葵子の変を思い出す。
一昨年秋よい法話をされ、楽しみにしていた住職三好龍諦師は折悪く外出中のため、会われなかつたのは残念。近くの平城小学校もS38改築、豪勢な構えだ。9時16分発。32分内海村。34分津島町。獅子文六の「てんやわんや」の取材地。真珠養殖地。45分津島大橋。56分宇和島市in。人口7万5千人、鬨牛の町。伊達氏の城下町。10時04分宇和島港。28分三間町。34分41番龍光寺。ゆるやかな石段一〇〇。11時02分42番佛木寺は道からすぐ。ここには、下村末信一一〇万円、上野俊男二五万円(いずれも府中町砂本講)の寄附碑がある。20分発。22分吉田湾。36分43番明石寺、めずらしい賽銭箱。記念撮影。12時06分発。14分昼食。宇和町宇和パーク1階(和)。うどんの準備おそし。50分発。55分三瓶わかれ。やがて大洲市へ。大洲市は加藤氏の城下町、肱川鵜飼学問(中江藤樹)の町。13時13分住職別れの挨拶(あす30日(月)のつびきならぬ法事のため、今夕大洲から松山へ出、今夜中に府中町へ帰らなければならない。あと一日を残し、甚だ心外であるが、来春継期の再会を約したい。また今夏の石鎚山順拝にもお会いしよう)。18分JR大洲駅住職下車。26分番外十夜ヶ橋。橋上では杖をついてはならない。45分発。54分五十崎駅。57分内子駅。帆あげ大会の町。

14時05分立川駅。13分中山郵便局。18分双海町in。23分伊予市in。25分向井原駅。57分砥部郵便局。大時03分三坂峠(H700m)。25分44番大宝寺。大杉林の登り口に、朝まいりは、わたしひとりの銀杏散りしく。(山頭火) 16時07分発。25分美川村in。26分45番岩屋寺。一昨年秋の登山道の面影なく、すっかり舗装されている。ヒキガエルと蛇、大ミミズの死闘再現不能。しかし、17時寺の下で、昼食ぬきの歩き遍路山口先達(別府市)と平塩姉との劇的な再会場面あり。37分発。58分おこうまんじゅう店。18時09分発。35分瑠璃中学校前。43分松山市in。50分松山市浄瑠璃町1-18、浄瑠璃寺門前長珍屋到着(泊)。20時15分より立石庵で有志数名カラオケ。※第6日目は、紙面の都合で次回とさせて戴きます。



四国遍路と先祖供養

木村 弘全

私はですが、十二年前岡山の菩提寺の住職との話から始めます(十五年前、寺の住職も別の方と交替しています)。「昔、馬の蔵に家財を積み岡山市内で遊興に明け暮れ、家も潰れてどこぞへ行つたきり味野の本家も途絶えている家が有るそうです。」「実は私の祖父なのです。原爆で亡くなりました。」「そうですか?」「味野の本家も絶えているとか……。」

昭和二十年三月、彼岸に母と二人で現在JR瀬戸大橋線近くの味野の本家へ墓参、約十糀

の徒歩で峠越えして帰る途中、由迦山蓮台寺から四国が見えた時に「ヘンロがしたかった。」とつぶやきました。その言葉はせつなく哀れを感じさせられ、そんな母の心の内も読み取れず、数年前にやっと気付き、私の八十八ヶ所巡りが始まったと思います。どれ程辛い苦しい生涯を過ごしたことか。それでも昭和十三年には祖父母の墓は建立しています。祖父が飲み潰した話はしていましたが、愚痴をこぼしたことは私の記憶にはありません。あと数年で五十回忌を迎えます。そんな母が力を貸してくれているからこそ、お寺の手伝もさせて頂けています。今回祖父の五十回忌、父の十三回忌の法要も出来ました。

金剛福寺の住職の話に「四国路には全国の死者の魂が集つて居られます。きっと何処かでお会い出来ますよ。」私はお遍路と先祖供養はどこかで結びついているのではと思います。本年度から過去帳を手にして靈場巡りさせています。同行二人の遍路はお大師さまだけない。御先祖様への感謝の心がなければ御縁に会えないよう思います。

五月の巡拝では、岩屋寺で老大先達と手を取り合ってお話しをされていた姿は、まるでお大師に出会った様な感動に胸を躍らせての歓喜の姿に見えました。錦の納札を頂かれた方が有りました。おかげを受けさせてもらつたと多くの人から聞くにつけ、はんとうにわねながら嬉んでいます。

おかげ様の人生を歩ける幸せ、ひとえに先祖供養の心が有ればこそだと思います。来年は高野山へ行きましょう。

南無大師遍照金剛

弘金

編集後記

久し振りにお参りをさせていただきました。

四国八十八カ所遍路は、開祖・弘法大師・空海を慕つて、その修行の跡を辿る旅なのです。大師は四国讃岐に生まれ、若き修行僧時代に四国の靈山靈場を巡つて苦行を修めました。

この四国遍路には、大師の足跡を偲ぶという意味のほかに、再生という意味も込められています。すなわち四国(死國に通ずる)の地で一度死んで、再び現実世界に甦るともいえるのです。

今回の通信には、山岡様、木村様に原稿をお願い致しましたところ、快よくお書き下さいまして有難うございました。尚、川岡様の原稿は次回も連載させて戴きます。

